
敦賀発電所2号炉
敷地の地形, 地質・地質構造
敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性
第1202回審査会合コメントリスト

令和5年11月22日
日本原子力発電株式会社

余白

2023年11月10日 第1202回審査会合コメント

(1)D-1トレンチにおける⑤層及び③層の堆積年代の評価

No.	日付	回次	コメント内容	回答資料提出時期	審議結果番号
1	令和5年 11月10日	第1202回	⑤層上部と同層下部を区分している根拠を説明すること。	現地調査で説明予定	②
2	令和5年 11月10日	第1202回	⑤層下部で確認された美浜テフラの分析結果について、濃集分析結果の詳細を説明すること。	検討中	②
3	令和5年 11月10日	第1202回	⑤層下部が再堆積ではないことを説明すること。	検討中	②
4	令和5年 11月10日	第1202回	③層上部の土壌化について、現地で確認する。	現地調査で説明予定	③
5	令和5年 11月10日	第1202回	土壌化までの時間について、具体的に説明すること。	検討中	③
6	令和5年 11月10日	第1202回	③層の堆積環境について、巨礫を含む砂礫主体の層相であることを踏まえると、側方の山からの影響を受けた崖錐ないし扇状地性のものである可能性を否定できないことから、説明すること。	現地調査で説明予定	⑤
7	令和5年 11月10日	第1202回	OSL信号の飽和を踏まえた測定結果の信頼性、年代測定の根拠の妥当性を説明すること。	次回審査会合で説明予定	⑥
8	令和5年 11月10日	第1202回	③層のOSL年代測定結果(133±9ka)について、誤差を考慮するとMIS5eの地層ではないことを否定できていないことから、OSL年代測定結果の飽和年代の取扱いについて、説明すること。	次回審査会合で説明予定	⑦
9	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面の測線Bの鬼界葛原テフラ(K-Tz)の粒子が下位の③層上部に検出されているように見える点について、説明すること。	次回審査会合で説明予定	⑧
10	令和5年 11月10日	第1202回	⑤層及び③層の堆積年代について、どのような調査結果に基づき、どのような考え方で時代観を特定しているのか資料に記載すること。	検討中	⑨

2023年11月10日 第1202回審査会合コメント

(2)北西法面でのK断層の活動性評価

No.	日付	回次	コメント内容	回答資料提出時期	審議結果番号
1	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面におけるK断層の変位について、現地調査で確認する。	現地調査で説明予定	②
2	令和5年 11月10日	第1202回	K断層西側の地層の傾斜を変形によるものと評価しているが、③層の堆積構造は成層構造ではなく、元の堆積構造が分からない状況で、傾斜が変形によるものと判断することは困難であることから、上載地層のk層が変形を受けていないとする根拠を説明すること。	現地調査で説明予定	③
3	令和5年 11月10日	第1202回	K断層に関して、変位は上方に向かって断続的になるにもかかわらず、変形は上部でも明確に認められるとしていることについて説明すること。	現地調査で説明予定	③
4	令和5年 11月10日	第1202回	上記の上で、仮にj層以下が変形を受けたものとしても、上載地層のk層がj層の一部(東側)の上位にしか観察されないことを踏まえると、k層を上載地層としてK断層の活動性を評価する手法の妥当性が乏しいことから、K断層の活動性評価の妥当性について説明すること。	現地調査で説明予定	④

2023年11月10日 第1202回審査会合コメント

(3)原電道路ピット及びふげん道路ピットでのK断層の活動性評価

No.	日付	回次	コメント内容	回答資料提出時期	審議結果番号
1	令和5年 11月10日	第1202回	D3層にK断層による変形がないとしているが、北西法面でK断層の上部は変形が主体との説明と整合性がなく、原電道路ピットにおけるK断層の活動性評価は変位しか示されていないことから、変形についてどのように評価したのか説明すること。	現地調査で説明予定	①
2	令和5年 11月10日	第1202回	原電道路ピットのD3層とC層の傾斜不整合関係について説明すること。	現地調査で説明予定	①
3	令和5年 11月10日	第1202回	原電道路ピットにおけるK断層による変位は、スケッチではC層中でせん滅していることについて、現地調査で確認する。	現地調査で説明予定	②
4	令和5年 11月10日	第1202回	ふげん道路ピットで、C層とD3層が、同じ③層中で大きな年代差がなく、層相も類似するのに傾斜不整合関係と判断した根拠を説明すること。	現地調査で説明予定	③
5	令和5年 11月10日	第1202回	ふげん道路ピットで認められる変位が、基盤岩中のK断層から連続しているか不明な状況で、K断層によるものと判断した根拠を説明すること。	現地調査で説明予定	③
6	令和5年 11月10日	第1202回	ふげん道路ピットと北西法面での評価(変位・変形)との整合性について説明すること。	現地調査で説明予定	③
7	令和5年 11月10日	第1202回	ふげん道路ピットのD3層に変形がないと評価した根拠を説明すること。	現地調査で説明予定	③

(4)K断層の分布・性状

No.	日付	回次	コメント内容	回答資料提出時期	審議結果番号
1	令和5年 11月10日	第1202回	K断層の分布・性状に関して、前回審査会合において指摘した点の再確認として、K断層の活動性評価に係る調査地点の妥当性確認の観点から、その分布・性状について説明すること。	現地調査で説明予定	①

2023年11月10日 第1202回審査会合コメント

「審議結果」に記載以外のコメント

No.	日付	回次	コメント内容	回答資料提出時期
1	令和5年 11月10日	第1202回	当初申請書に記載していた③層で実施したテフラ分析結果を補正申請で削除した理由について説明すること。	次回審査会合で説明予定
2	令和5年 11月10日	第1202回	原電道路ピットにおいて、K断層に見られる2つの変位量を合わせて、K断層のトータルの変位量とした考えを明確にすること。 一般的な変位量の出し方を説明し、個々の地点ごとにその説明をすること	次回審査会合で説明予定
3	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面において③層を細区分しているが、それらの地層を同じ③層と評価している根拠を示すこと。	検討中
4	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面の③層については成層構造ではなく、断層による変形の影響を判断した根拠を説明すること。同法面の③層において、K断層による影響がk層まで及んでいないと評価するためには、合理的な説明をすること。	検討中
5	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面で実施したテフラ分析において、K-Tz層準で見られる普通角閃石について説明すること。	検討中
6	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面においてK断層による影響をシュミットネット等で検討しているが、e層を分けて整理したことについて説明すること。	検討中
7	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面においてK断層による変形量を求めることは困難であり、変位が上方に向かって減少している状況において変形だけが出ているとしていることについて説明すること。	検討中
8	令和5年 11月10日	第1202回	北西法面の③層を細区分しているが、写真では境界が明瞭ではない。細区分が出来るか否かを説明すること。	検討中
9	令和5年 11月10日	第1202回	原電道路ピットにおいて、同じ③層内で不整合境界があるとする根拠及び不整合境界の位置を明確にすること。	検討中
10	令和5年 11月10日	第1202回	ふげん道路ピットで確認された断層をK断層と評価した根拠について説明すること。	次回審査会合で説明予定